

奈良女子大学古代学学術研究センター  
平成 28 年度 第 1 回月例研究会

# 王権の論理と仏教

— 聖徳太子と舒明天皇 —

鈴木明子 (古代学術研究センター協力研究員)

日時：2016 年 5 月 18 日 (水) 16:30~18:00

場所：生活環境学部中会議室 (大学院 F 棟 2 階)

古代都城では、王宮と寺院が一对で建設されており、王権と仏教の密接な関係を見ることができる。しかし、中国王朝の度重なる廃仏記事にあるように、本来、王権の論理と仏教の論理は対立する側面をもっている。古代日本における王権と仏教の親密な関係はいかに生みだされたのだろうか。本報告では、神仏と王権をめぐる思想構造の分析を行う。

『日本書紀』は、王権の論理と仏教の論理が重なる限界点に聖徳太子を位置づけている。王権と仏教の関係性における聖徳太子の存在の意味もあわせて考察する。また、舒明天皇は天皇として初めて宮寺一对の造営を行った。聖徳太子と舒明天皇の関係性についても検証する。

ご自由にご参加ください

問合せ先：奈良女子大学古代学学術研究センター  
〒630-8506 奈良市北魚屋東町  
奈良女子大学コラボレーションセンター205 号室  
Phone & FAX. 0742-20-3779